



第

19

号

No.19
2011.10.06発行



吉野ヶ里町 社協だより



社協だよりは赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

吉野ヶ里町社会福祉協議会公認 「吉野ヶ里認知症見守り隊」養成講座

東脊振地区



吉野ヶ里町社会福祉協議会公認「吉野ヶ里認知症見守り隊」養成講座をふれあい大学(三田川・東脊振地区)のそれぞれの教室で開催いたしました。西九州大学 小松洋平先生、桂寿苑 多良弘典先生の「認知症とは・・・」の講話に皆さん耳を傾けていらっしゃいました。

先日、行方不明の高齢者が発生し、捜索依頼をメール登録隊員へ発信しました。
ご本人は夕方には無事発見され、早速に再度メールで報告しました。

三田川地区



今月号の表紙

24時間テレビチャリティー募金

8月20日(土)にサンプラザ、スーパーモリナガ、アスタロビスタの敷地をお借りして、今年も24時間テレビ街頭募金を実施しました。募金ボランティアとして三田川中学校、東脊振中学校の生徒さんが参加してくれました。

炎天下の中、募金に訪れていただいた皆様、ボランティアに参加いただいた皆さん、場所を快く提供いただいた関係者の皆さんに感謝いたします。

生徒の感想

私は今回、初めて24時間テレビの募金に参加しました。

通ってくれる人にあいさつをしたけど、無視して行ってしまう人もいました。でも、逆に私達が「こんにちは」とあいさつしたら「こんにちは。頑張ってるね」と笑顔で言ってくれる人もいました。

そう言ってもらえるとまたがんばろうと元気ができました。

小さい子供が募金してくれると、私はとっても嬉しくかんじました。

24時間テレビ、赤い羽根のためにこんなに多くの方が募金してくれていると思うと感動しました。

三田川中学校3年生

今日、このチャリティーに参加した理由は、3月11日に東北大地震があり、少しでも東北の方々に元気になってほしいと思ったからです。東北の方々は直接私の事を知りません。しかしそれでもこの寄付金で1日でも早くふつこうし、東北のみなさんに「笑顔」になつてほしいです。最初はきんちようしたけど最後には慣れたので、このチャリティーに参加して本当によかったです。

東脊振中学校3年生

もの作り(工作)キャンプ



●ベグソリティア作り



●パソコンで
絵日記をかこう

8月8日～9日に「もの作り(工作)キャンプ」を開催しました。三田川小学校、東脊振小学校の4年生から6年生が1泊2日のキャンプに参加しました。

●仲間と協力しながらものを作り上げる楽しさ
●三田川・東脊振の交流
を目的に、楽しい2日間でした。



●夕食作り(お好み焼き)



子供達の感想

● 昨日にお好み焼きを作りました。
最初は自信がなかったけど意外と簡単でした。
お好み焼きを裏にするのが大変でした。でも
できました。

その後お好み焼きの上にいろいろなものをの
せました。

その後、僕は3枚も食べたので、おなかが痛く
なりました。

でも4枚目を食べました。でも、自分で作った
から、おいしかったです。

● ペグソリティアというゲームを作りました。
とてもおもしろいゲームでハマってしま
いました。ペグソリティアゲーム大会でもり
あかりました。



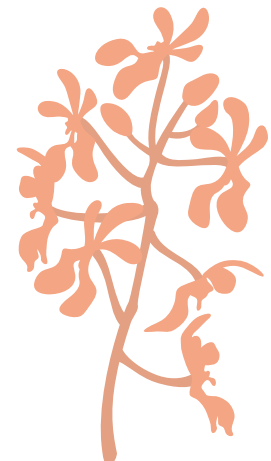
ふまねと教室

北海道教育大学で考案された。
「ネットを踏まないで歩く」運動です。



ゆっくり歩くことにより、歩行時のバランス改善になり、またステップを取り入れることにより、歩きながら考え、頭の体操にもなります。

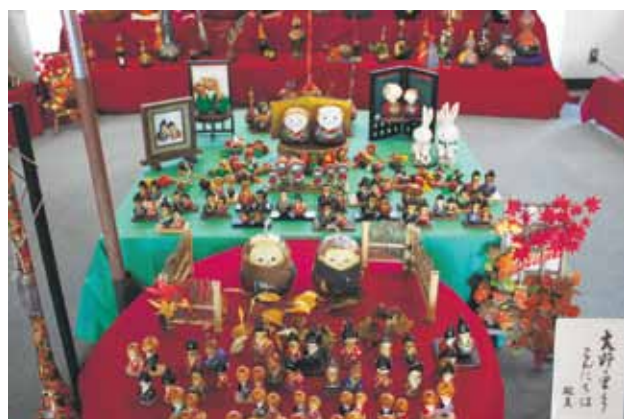
当社協の職員は、この運動のインストラクター資格を取得し、今後は吉野ヶ里町全域に広めていきたいと思っています。大勢で笑いながら、レクリエーション感覚でできる運動です。



ふれあい館 ロビー

秋風がふき、朝と夜は寒さを感じるようになってきました。

ふれあい館ロビーも大輪のひまわりからひょうたん人形に模様替えをしました。人形一体一体温かい表情があり、作者の人柄を感じます。是非みなさんもお覧になってください。



ぱそこん教室



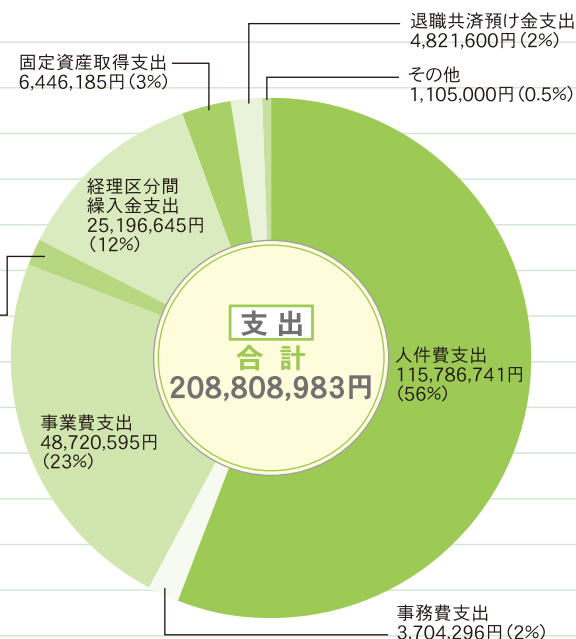
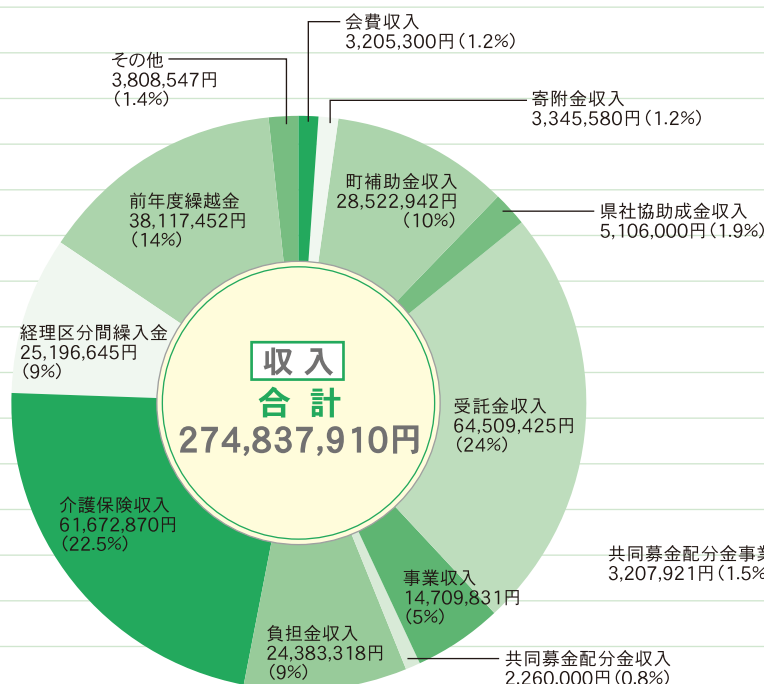
- 新しい事を始める(脳の活性化)
- 趣味を楽しむ
- 新しい仲間作り

を目的に当社協で「ぱそこん教室」を開催しております。毎回定員を超えるお申し込みをいただいております。住民の皆様が興味を持てる講座を今後も開催していきたいと思っております。



平成22年度 一般会計収支

決算



次年度繰越金 66,028,927円

平成22年度のおもな事業内容

法人運営事業

地域福祉活動事業

老人福祉活動

- ・福祉機器の貸与事業
- ・老人クラブ連合会活動支援
- ・老人世帯生活支援ネットワーク事業の推進
- ・介護予防推進事業
- ・認知症予防推進事業

心身障がい者(児)福祉活動

- ・身体障がい者福祉協会活動支援
- ・手をつなぐ育成会活動支援
- ・療育レクリエーション事業
- ・療育相談事業

児童福祉活動

母子・父子福祉活動

- ・一日ふれあい事業
- ・ひとり親寡婦福祉協会活動支援

福祉育成・援助活動

- ・地域密着型サロン事業
- ・ふれあい映写会
- ・総合学習・職場体験学習への協力
- ・民生・児童委員活動支援
- ・婦人会活動支援
- ・還暦会
- ・健康づくり社協友の会
- ・ばそこん教室
- ・メタボ教室
- ・介護支援専門員実務研修受講試験講習会
- ・介護福祉士受験対策講座
- ・認知症見守り隊養成講座

食品・雑貨お届け事業

- ・ボランティア連絡協議会活動支援
- ・ボランティア協力校活動支援
- ・ボランティア養成講座の開催
- ・ボランティア団体活動支援

住民援護活動

- ・行路人援護
- ・福祉サービス利用援助(あんしんサポート)事業
- ・災害見舞い
- ・初盆参詣

町受託事業

- ・外出支援サービス事業
- ・軽度生活援助事業
- ・心配ごと相談事業
- ・健康福祉センターふれあい館及び憩いの家の管理運営
- ・地域活動支援センター事業
- ・特定高齢者地域支援事業
- ・環境保全事業

県社協受託事業

- ・生活福祉資金貸付事業

居宅介護等事業

- ・通所介護事業
- ・訪問介護事業

シルバー人材センター事業

町福祉資金貸付事業

車両をご寄贈いただきました

吉野ヶ里町と上峰町にまたがる佐賀東部中核工業団地への進出会社で構成される「佐賀東部中核工業団地共同施設維持管理組合」より、このたび地域貢献活動の一環として福祉サービス用送迎車両を本会へご寄贈いただきました。

今後は、この車両でデイサービスの送迎等にフル活用させていただきます。

関係企業の皆様ありがとうございました。



大塚製薬株式会社 佐賀工場 様

前回の「社協だより」でもご紹介させていただきましたが、従業員の方々の飲用されたアルミ缶、スチール缶を毎月換金しそのお金を当社協へご寄付頂いております。

9月、そのご厚意で車いすを購入させていただきました。

本会利用のデイサービスの皆さんが快適に使用されています。

東脊振地区



吉野ヶ里地区



ボランティア連絡協議会(会長 馬場 茂 事務局 吉野ヶ里町社会福祉協議会)による空き缶ごみ拾いを9月17日(土)午前7時より実施しました。

天候もよく多くの皆さんに参加いただきました。きれいな町作りのため、皆さん1時間のウォーキングと一緒にゴミのポイ捨てについても考えていただきました。



第

5回

吉野ヶ里町健康福祉フェスタ

第5回吉野ヶ里町健康福祉フェスタが9月23日に開催されました。
この中で当社協は「もったいない市」「血管年齢測定」を実施しました。



「もったいない市」は、今まで住民の皆様より「まだまだ使えるけど私はいらない。誰か使ってくれないかしら」というような商品を寄付していただいております。それを今回販売したところ売上19,900円となり、例年のように吉野ヶ里町の入口である高速インターチェンジ前花壇の花苗代にさせていただきます。

皆さんの善意の花が吉野ヶ里町をおとずれる方々を明るく出迎えてくれることでしょう。



「血管年齢測定」は、西九州大学の小松洋平先生に来ていただきました。指一本で血管の弾力性が分かるとのことで、多くの方々に訪れていただきました。「年齢より1歳若いですね」「年齢相応ですね」と、皆さん結果を聞かれうれしいやら、・・・まだ若いのでは・・・???やら・・・



